

まごころレター

2025.02.01

第98号

こんにちは！

登別市社会福祉協議会（社協）です！

今年の節分は2月2日です。毎年2月3日とは限らないと知っていましたか？

もともと節分は、年に4回訪れる立春・立夏・立秋・立冬の前日を指す言葉でしたが、一年の始まりであり、大切にされていた「立春」の前日のみを「節分」と呼ぶようになったそうです。悪いものを追い出し、縁起のよいものを食べて、新しい季節を迎えるための行事です。

鬼は外



福は内

あたまの体操

今回はあるなしクイズです。

「ある」に共通するものはなんでしょう。

例

《ある》	《なし》
サンドイッチ	ハンバーガー
ゴマ	コショウ
イチゴ	スイカ
にんじん	ダイコン
ななふし	バッタ
ハチ	アブ

あるの方には数字が隠れています。

サンドイッチ	→ 「3」
ゴマ	→ 「5」
イチゴ	→ 「5」
にんじん	→ 「2」
ななふし	→ 「7」
ハチ	→ 「8」

問1

《ある》	《なし》
ふたご	ひとりっ子
てんびん	体重計
さそり	むかで
やぎ	しか
かに	やどかり



問2

《ある》	《なし》
ねぎ	にら
トランプ	花札
トリック	しかけ
うどん	そば
脚立	はしご



裏面には今月のお知らせとあたまの体操の答えを掲載しています



2月26日はピンクシャツデーです

《ピンクシャツデーのはじまり》

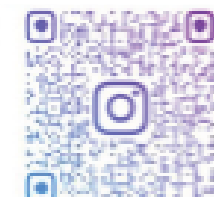
カナダの中学生が、学校にピンク色のシャツを着て登校したことがきっかけでいじめられました。それを知った上級生が「明日、ピンク色のものを身につけて登校しよう」とインターネットに発信したところ、次の日、学校が思いやりのピンク色に染まりました。そしてこの出来事は瞬く間に世界に広がり、「ピンクシャツデー」として毎年2月の最終水曜日に行われるイベントになりました。



《登別市におけるピンクシャツデーのこれまで》

2021年9月に行われた「多様性を認め合うひとづくりフォーラム」の中で、登別市の高校生が集まり、多様性について考えるワークショップを行いました。ワークショップを通して、多様性について考えを深める中で、学校における「いじめ」に目を向けました。私たちが暮らす登別の中で「いじめ」をなくすために何か行動はできないだろうかという思いから、市内小中高の学校から代表者が集まり、「鬼っ子フォーラム」を開催し、「ピンクシャツ大作戦」の取組を進めていくことを決意しました。

今年で4回目となるこの取り組みは現在、市内の高校生を中心に学生実行委員会を組織し、活動を広げるために公式のInstagramを使って情報を発信しています。



PINKSHIRT_NOBORIBETSU



昨年はシャツのほか、ピンク色のベストを着用した朝の見守り活動やリストバンドを着用して過ごすなど、それぞれにできるカタチでの活動が行われました。皆さんも2月26日は、ピンク色のものを身につけてみませんか？

- 答え 問1 語尾に「座」をつけると十二星座になる。
問2 十二支の名前が隠されている。



まごころレターは赤い羽根共同募金の支援を受けて発行しています

